選挙の歌 令和4年6月

勝ってくるぞと勇ましく 誓って**選挙**出たからは **当選せ**ずに**おら**りょうか **選挙ニュース**聴くたびに まぶたに浮かぶ**金バッチ**

まちも田舎もひとがいる 果なき人を振りわけて かける電話やビラ配り 票の予想をたてながら 明日の当落誰か知る

ビラもマイクもポスターも しばし事務所で草まくら 夢に出てきた人々に 落ちて帰れと見放され さめて睨むは敵の空

思えば前のたたかいに さけにそまってにっこりと 笑って勝った敵陣が 選挙当選万歳と 残した声が忘らりょか

以前の主義はかねてから 捨てる覚悟でいるものを ないてくれるな元支持者 選挙当選のためならば なんで面子が惜しかろう

青野正宏











- 11 国債で給付増やしてバラマキを
- 12 トランプはアメリカのなか人気あり



目先で釣るはポピュリズムなり